

## 第4期【償還】

# 運用報告書(全体版)

## 外貨建て日系債券ファンド17-02 (為替ヘッジなし) (愛称 Jスマイル (為替ヘッジなし))

【2020年12月21日償還】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「外貨建て日系債券ファンド17-02(為替ヘッジなし)(愛称 Jスマイル(為替ヘッジなし))」は、2020年12月21日をもちまして信託約款の規定に基づき、償還となりました。ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対し改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/海外/債券	
信託期間	2017年2月28日から2020年12月21日までです。	
運用方針	外貨建て日系債券マザーファンド16-07(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、本邦の企業およびその子会社等(海外子会社等を含みます。)または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	外貨建て日系債券マザーファンド16-07	取得時においてBBB格相当以上の外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。
	外貨建て日系債券マザーファンド16-07	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年12月21日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれが多い金額とします。経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。	

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			受益者 利回り	FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)	期中騰 落率	債券 組入比率	債券 先物比率	元本 残存率
		税 分 配	達 み 金	期 騰 落 額						
(設定日) 2017年2月28日	円 銭 10,000	円 -	円 銭 -	% -	% -	ポイント 251.8690	% -	% -	% -	% 100.0
1期(2017年12月21日)	10,243	65	308	3.1	3.8	262.4142	4.2	97.4	-	96.4
2期(2018年12月21日)	9,991	80	△172	△1.7	0.7	259.3530	△1.2	96.8	-	82.9
3期(2019年12月23日)	10,418	80	507	5.1	2.3	272.6489	5.1	97.6	-	38.6
(償還時)	(償還価額)									
4期(2020年12月21日)	10,119.02	-	△298.98	△2.9	0.9	280.3760	2.8	-	-	38.6

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落額および騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額は当初設定元本。

(注) 受益者利回りは、設定以来の年率換算利回りです。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円 銭	騰 落 率	ポ イ ン ト	騰 落 率		
(期 首) 2019年12月23日	10,418	—	272.6489	—	97.6	—
12月末	10,438	0.2	273.8567	0.4	97.6	—
2020年1月末	10,450	0.3	274.7499	0.8	96.6	—
2月末	10,522	1.0	280.4077	2.8	97.3	—
3月末	9,970	△4.3	267.9263	△1.7	97.0	—
4月末	10,001	△4.0	270.3885	△0.8	96.5	—
5月末	10,191	△2.2	276.6648	1.5	96.4	—
6月末	10,319	△1.0	281.7227	3.3	96.5	—
7月末	10,106	△3.0	279.9200	2.7	97.2	—
8月末	10,204	△2.1	280.6158	2.9	97.0	—
9月末	10,248	△1.6	281.6026	3.3	97.6	—
10月末	10,152	△2.6	278.7448	2.2	96.2	—
11月末	10,119	△2.9	280.3962	2.8	87.2	—
(償還時) 2020年12月21日	(償還価額) 10,119.02	△2.9	280.3760	2.8	—	—

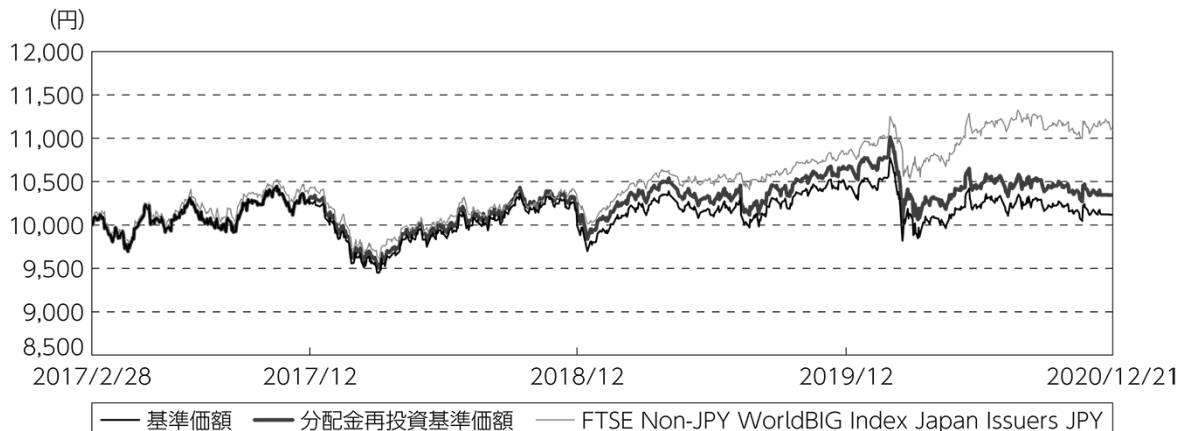
(注) 騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## 設定以来の運用経過

## 設定以来の基準価額等の推移

（2017年2月28日～2020年12月21日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単字型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日（2017年2月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## 設定以来の投資環境

（2017年2月28日～2020年12月21日）

米国債券市場は、信託期間を通じて利回りが低下（債券価格が上昇）しました。2018年にかけては、景気拡大を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）が断続的に利上げを実施したことなどから、利回りが上昇（債券価格が下落）しました。しかし、その後は米国経済の減速から利回りは低下に転じ、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、FRBが大幅な利下げや無制限の保有資産規模拡大など、大規模な金融緩和に動いたことから、利回りが大幅に低下しました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、信託期間を通じて縮小しました。2019年にかけては、堅調な株価動向等を背景に投資家の利回り選好が続き、全般にスプレッドは縮小する動きとなりました。2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて金融市場の流動性が急速に低下し、信用リスクを回避する動きが強まったことから、3月にスプレッドが急拡大する場面が見られました。しかし、その後はFRBが大規模な金融緩和に加え、社債の購入等による企業の資金繰り支援策を打ち出したことなどから、投資家の利回り選好が回復し、スプレッドは縮小傾向を続けました。

為替市場については、信託期間を通じて米ドルが対円で下落しました。2018年11月にかけては、総じて揉み合いで推移しましたが、その後は米国経済の減速等を背景に、米ドルが対円で弱含む動きとなりました。さらに、2020年にはFRBの大規模な金融緩和を受けて、米ドルは対円で一段安となりました。

## 設定以来の当ファンドのポートフォリオ

（2017年2月28日～2020年12月21日）

「外貨建て日系債券マザーファンド16-07」の受益証券の組入比率を高位に保ちました。

実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

「外貨建て日系債券マザーファンド16-07」においては、本邦の企業や政府系機関等が発行する米ドル建ての債券に投資を行いました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面での魅力が高いと判断される債券に着目しました。債券組入比率は概ね高位を維持しましたが、2020年12月上旬にはファンドの償還に向けて保有債券を全て売却し、短期金融商品等への投資による運用へ移行しました。

## 設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年2月28日～2020年12月21日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、設定以来の分配金も考慮した基準価額の騰落率は、参考指数であるFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を下回る結果となりました。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年12月24日～2020年12月21日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	70	0.684	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(34)	(0.328)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(34)	(0.328)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 4 )	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	75	0.736	
期中の平均基準価額は、10,226円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

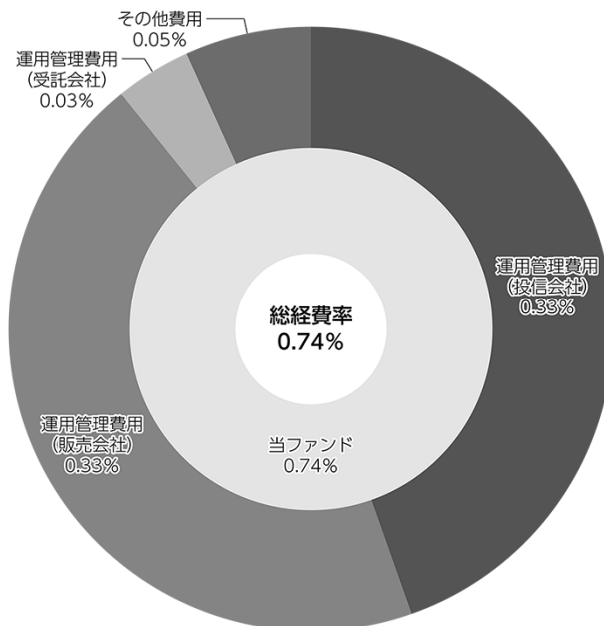
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年12月24日～2020年12月21日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外貨建て日系債券マザーファンド16-07	千口 —	千円 —	千口 19,108	千円 21,556

（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年12月24日～2020年12月21日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2020年12月21日現在）

有価証券等の組入れはございません。

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)
	口 数
外貨建て日系債券マザーファンド16-07	千口 19,108

（注）口数の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2020年12月21日現在）

項 目	償 還	時
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 21,618	% 100.0
投資信託財産総額	21,618	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。



○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2020年12月21日現在）

項目	償還時
	円
(A) 資産	21,618,129
コール・ローン等	21,618,129
(B) 負債	75,227
未払信託報酬	73,887
未払利息	14
その他未払費用	1,326
(C) 純資産総額(A-B)	21,542,902
元本	21,289,519
償還差益金	253,383
(D) 受益権総口数	21,289,519口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,119円02銭

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,011,902円です。

(注) 当ファンドの設定元本額は55,136,933円、期首元本額は21,289,519円、期末における元本残存率は38.6%です。

○損益の状況（2019年12月24日～2020年12月21日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 21
支払利息	△ 21
(B) 有価証券売買損益	△ 485,427
売買益	1,201,866
売買損	△1,687,293
(C) 信託報酬等	△ 151,629
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 637,077
(E) 前期繰越損益金	890,460
償還差益金(D+E)	253,383

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2017年2月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年12月21日		資産総額	21,618,129円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	75,227円
受益権口数	55,136,933口	21,289,519口	△33,847,414口	純資産総額	21,542,902円
元本額	55,136,933円	21,289,519円	△33,847,414円	受益権口数	21,289,519口
				1万円当たり償還金	10,119円02銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	53,158,302円	54,448,154円	10,243円	65円	0.65%
第2期	45,738,434	45,698,907	9,991	80	0.80
第3期	21,289,519	22,179,979	10,418	80	0.80
信託期間中1万円当たり総収益金及び年平均収益率				344円02銭	0.9019%

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金	10,119円02銭
-----------	------------

<お知らせ>

該当事項はございません。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

## 外貨建て日系債券マザーファンド16-07

### 第5期 運用状況のご報告

償還日：2020年12月18日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦の企業およびその子会社等（海外子会社等を含みます。）または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	取得時においてBBB格相当以上の外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準 価額	FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額	
		期騰 落	中 率				期騰 落
(設定日) 2016年7月28日	円 銭 10,000		% —	ポイント 241.8105	% —	百万円 800	
1期(2016年12月21日)	10,898		9.0	261.5119	8.1	98.4	824
2期(2017年12月21日)	11,042		1.3	262.4142	0.3	97.8	1,448
3期(2018年12月21日)	10,926		△1.1	259.3530	△1.2	97.3	1,175
4期(2019年12月23日)	11,535		5.6	272.6489	5.1	98.2	1,093
(償還時)	(償還価額)						
5期(2020年12月18日)	11,280.63		△2.2	279.4741	2.5	—	945

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、当該日前営業日の指数値です。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
	円 銭	騰 落 率	ポ イ ン ト	騰 落 率				
(期 首) 2019年12月23日	11,535	—	272.6489	—	98.2	—	—	—
12月末	11,558	0.2	273.8567	0.4	98.2	—	—	—
2020年1月末	11,579	0.4	274.7499	0.8	97.1	—	—	—
2月末	11,666	1.1	280.4077	2.8	97.8	—	—	—
3月末	11,058	△4.1	267.9263	△1.7	97.5	—	—	—
4月末	11,098	△3.8	270.3885	△0.8	97.0	—	—	—
5月末	11,316	△1.9	276.6648	1.5	96.9	—	—	—
6月末	11,466	△0.6	281.7227	3.3	97.0	—	—	—
7月末	11,235	△2.6	279.9200	2.7	97.7	—	—	—
8月末	11,351	△1.6	280.6158	2.9	97.4	—	—	—
9月末	11,407	△1.1	281.6026	3.3	98.0	—	—	—
10月末	11,306	△2.0	278.7448	2.2	96.7	—	—	—
11月末	11,276	△2.2	280.3962	2.8	87.6	—	—	—
(償還時) 2020年12月18日	(償還価額) 11,280.63	△2.2	279.4741	2.5	—	—	—	—

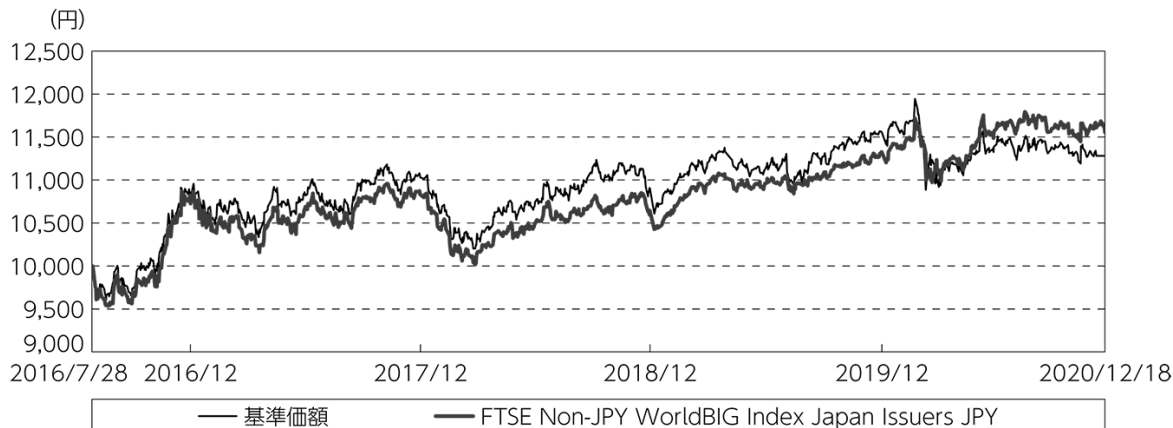
(注) 騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## 設定以来の運用経過

## 設定以来の基準価額等の推移

(2016年7月28日～2020年12月18日)



(注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

(注) 参考指数は、設定日（2016年7月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## 設定以来の投資環境

(2016年7月28日～2020年12月18日)

米国債券市場は、信託期間を通じて利回りが低下（債券価格が上昇）しました。2018年にかけては、景気拡大を背景に米連邦準備制度理事会（F R B）が断続的に利上げを実施したことなどから、利回りが上昇（債券価格が下落）しました。しかし、その後は米国経済の減速から利回りは低下に転じ、2020年には新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、F R Bが大幅な利下げや無制限の保有資産規模拡大など、大規模な金融緩和に動いたことから、利回りが大幅に低下しました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、信託期間を通じて縮小しました。2019年にかけては、堅調な株価動向等を背景に投資家の利回り選好が続き、全般にスプレッドは縮小する動きとなりました。2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて金融市場の流動性が急速に低下し、信用リスクを回避する動きが強まったことから、3月にスプレッドが急拡大する場面が見られました。しかし、その後はF R Bが大規模な金融緩和に加え、社債の購入等による企業の資金繰り支援策を打ち出したことなどから、投資家の利回り選好が回復し、スプレッドは縮小傾向を続けました。

為替市場については、信託期間を通じては米ドルが対円で概ね横這いとなりました。2016年の米国大統領選挙では、過激な発言を繰り返す共和党のトランプ氏が当選しましたが、連邦議会選挙でも共和党が上下院で過半数超の勢力を維持し、政治の安定等を背景とした景気回復への期待が高まったことから、年末にかけて米ドルが対円で大幅に上昇しました。しかし、その後は総じて揉み合いの展開が続いた後、2018年12月以降は米国経済の減速等を背景に、米ドルが対円で弱含む動きとなりました。さらに、2020年にはF R Bの大規模な金融緩和を受けて、米ドルは対円で一段安となりました。

## 設定以来の当ファンドのポートフォリオ

(2016年7月28日～2020年12月18日)

本邦の企業等が発行する米ドル建ての債券に投資を行いました。ポートフォリオのデュレーションは、当ファンドの残存信託期間+0.5年程度とすることを目指しました。投資する銘柄の選択にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目しました。設定以来の債券組入比率は概ね高位を維持しましたが、2020年12月上旬にはファンドの償還に向けて保有債券を全て売却し、短期金融商品等への投資による運用へ移行しました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

## 設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年7月28日～2020年12月18日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、設定以来の基準価額の騰落率は、参考指数であるFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を下回る結果となりました。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年12月24日～2020年12月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.050	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(6)	(0.049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.001)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	6	0.050	
期中の平均基準価額は、11,359円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年12月24日～2020年12月18日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル 3,019	千米ドル 12,444 ( 300)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年12月24日～2020年12月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年12月18日現在)

有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2020年12月18日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 945,381	% 100.0
投資信託財産総額	945,381	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2020年12月18日現在)

## ○損益の状況 (2019年12月24日～2020年12月18日)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	945,381,152
コール・ローン等	945,381,152
(B) 負債	3,739
未払利息	1,471
その他未払費用	2,268
(C) 純資産総額(A-B)	945,377,413
元本	838,053,784
償還差益金	107,323,629
(D) 受益権総口数	838,053,784口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,280円63銭

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	34,111,593
受取利息	34,128,126
支払利息	△ 16,533
(B) 有価証券売買損益	△ 57,116,554
売買益	5,134,136
売買損	△ 62,250,690
(C) その他費用等	△ 494,515
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 23,499,476
(E) 前期繰越損益金	145,576,018
(F) 解約差損益金	△ 14,752,913
償還差益金(D+E+F)	107,323,629

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.128063円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は948,245,371円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は110,191,587円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

外貨建て日系債券ファンド17-02 (為替ヘッジあり)	404,032,778円
外貨建て日系債券ファンド16-07 (為替ヘッジあり)	384,947,850円
外貨建て日系債券ファンド16-07 (為替ヘッジなし)	30,055,247円
外貨建て日系債券ファンド17-02 (為替ヘッジなし)	19,017,909円

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 〈お知らせ〉

該当事項はございません。